


ふりがな 氏名	いけだ ゆかこ	都道府県	大阪府	
	<b>池田 祐加子</b>			
所属/肩書	シャープ株式会社 コーポレート統括本部 CSR 推進部 企画グループ			
私の ESD活動	持続可能な社会の構築に向けた、企業による教育 支援活動「小学校環境教育」の企画、運営 (2010年5月～現在)			

### 活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

持続可能な社会の構築に向けた、企業(シャープ株式会社)による教育支援活動「小学校環境教育」の企画、運営（カリキュラムの開発、実施校の募集活動、実施日程調整、社員講師の研修育成等）を行っています。(2010年5月～現在)

「小学校環境教育」は社員講師が地域の小学校に出向き、次代を担う子ども達に対し、地球温暖化防止の問題、リサイクルや新エネルギーの学習を行う総合的な環境授業です。

独創性、革新性としては、

- 1). 太陽光発電の実験や家電リサイクル工場の映像等、企業のリソースを活かしたカリキュラムで、講義やクイズ、実験を交え、児童との交流を深めながら、楽しく環境について学べるようになっている点。
- 2). 学習指導要領に沿った内容の講義や実験をすることで、学校側が総合的な学習の時間等の授業の中で活用し易いものとしている点。
- 3). 日本のみならず海外拠点にも現地に合わせたカリキュラムで展開している点。が挙げられます。

成果として、2010年度～2013年9月末において、国内、海外合わせて累計1,774校(約99,790人)へ実施しました。また、授業後、学校にアンケートへご協力を頂いており、先生方からは、

- ・地球温暖化やエネルギー等の難しい話を身近な問題として受け止め、日常の環境に配慮した行動に繋がった。
- ・環境学習はどうしても座学だけになりがちだが、実験や体験活動で、子供たちが参加できる工夫が良い。

等の声をお寄せ頂き、高い評価を頂いています。

また、児童からは、年間約3,000通の感想文が寄せられており、その中には

- ・環境技術者になって地球を救いたい。
- ・手回し発電をして、電気を作ることの大変さがわかった。これからは地球にやさしい行動をしたい。
- ・実験で楽しみながら二酸化炭素の性質や太陽電池のことがよくわかった。

といった、自ら地球にやさしいライフスタイルを実践したり、環境技術に興味を抱いたりという声が多く見られます。

・シャープ 小学校環境教育のご案内: [http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/kyoiku/eco\\_lesson/index.html](http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/kyoiku/eco_lesson/index.html)

・シャープ サステナビリティレポート2013 教育分野の取り組み:

<http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/social/community/education/index.html>

### 今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

ESDの更なる発展のために若者は、持続可能な社会づくりのためにモチベーション高く行動していることや、現代社会の課題を解決する為に行っている教育活動のアイデアや事例について世界へ発信する役割を担う事ができると考えています。

日本の若者は、環境問題や貧困、地域活性化、防災への関心が高く、特に東日本大震災後からは震災復興のみならず各種災害復興の為にボランティアへの参加も増えるなど、日本・世界を救いたい、より良くしたいという気持ちが大きいように感じます。今回のコンファレンスでそのような経験や思いを共有し合うと共に、若者が現代社会の様々な問題に関心を持ち、自分のこととして捉え、解決策を模索し、実践している姿を発信することで、世界的なESDの認知度や関心を高め、より多くの人々がESDについて出来ることを考えるきっかけづくりが出来るのではないかと思います。